

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION



NO.106

www.jsaf.or.jp



みんなのお気に入りには

チップスター



ヤマザキナビスコ

ナビスコ及びチップスターはモンテリーズ・インターナショナル グループにより使用許諾されている商標です。

JSAFからのメッセージ

新たな歴史を創る君たちへ

新学期を迎え、中学生に、高校生に、そして大学生になった諸君おめでとうございます。また、希望に燃えて新社会人となったセーラーたちにお祝いを申し上げます。

6年後、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この世界のスポーツ祭典は人の一生に遭えるか遭えないか、まさに千載一遇のチャンスです。日本国内ではスポーツ文化の楽しさと素晴らしさを、また世界の人々におもてなしの心や日本文化のよさをアピールできる機会です。

50年前の東京オリンピックで、施設などハード面の充実がありました。今回2度目のオリンピックでは、ソフト面の充実が課題です。日本の歴史はいまターニングポイントを迎えています。

時代を変えるのはいつも若者です。新たな歴史を創る意気込みで、海洋日本で新たな風を起こすことを期待しています。



■ジュニア・ユースにも届きます。

J-SAILING はジュニア・ユースメンバーが所属するおよそ 200 の団体にお届けしています。各団体のご担当者の方々には、ジュニア・ユースセーラーのために J-SAILING を活用されることをお勧めいたします。

■PDF でも読めます。

JSAF ホームページの <http://www.jsaf.or.jp/j-sailing/> にアクセスしてください。J-SAILING の pdf バージョンが掲載されています。過去の記事を再読したり、本誌が手元にない時にも PC があれば読むことができます。ご利用ください。

■メールアドレスをお知らせください。

デジタル化が進み、電子メールを使った連絡方法が一般的になっています。JSAF もメンバー各位に様々な情報をお届けする際、メールを利用することが多くなっています。そこで、各団体の登録業務ご担当の方々にお願いします。メンバーの新規登録や更新登録の際には、必ずメールアドレスを併記していただけるようお願いいたします。

JSAFのメンバーになれば

- ◎メンバーズカードが発行され、公式競技参加の資格が与えられます。
- ◎会費の一部が傷害保険の保険料に充当され、セーリングの事故による死亡、後遺障害に適用されます。
- ◎JSAF の会報誌「J-SAILING」が送付されます。
- ◎各種講習会などに参加でき、資格を取得する際の条件に適用されます。
- ◎「J-SAILING」をはじめ、所属する加盟団体からもセーリングに関する各種行事やレース日程などの情報が提供されます。

加入、更新手続きの詳細は各加盟団体にお問い合わせください。

<http://www.jsaf.or.jp/dantai/>



ASTRON
GPS
SOLAR

SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウォッチ お客様相談室 0120-061-012 (9:30~17:30土・日・祝日除く)



帆走する 49er を屋内で再現したボートショー (photo by Sachie Hamaya)

49erなどをボートショーで展示 オリンピック セーリング競技応援プロジェクト

2014年3月6日～9日、「ジャパンインターナショナルボートショー 2014」

(主催：一般社団法人日本マリン事業協会、会場：パシフィコ横浜&横浜ベイサイドマリーナ) が開催されました。

JSAF 広報委員会は JSAF オリンピック委員会、JSAF オリンピック準備委員会、JSAF 事業開発委員会と連動し、パシフィコ横浜会場において「オリンピック セーリング競技応援プロジェクト」と銘打ったブースを JOC 協力の下に出展し、JSAF のオリンピックに関する広報活動を行いました。

注目を浴びたのは 49er 級の展示でした。

全長 5m 弱、全幅 3m 弱、マスト高さ約 8.5 m、40 平米弱のジェネカーを持つ 49er の前では多くの人々が立ち止まり、マストトップを見上げ「でかい！」と感嘆の声を上げていました。海ではそれほど大きく感じない 49er ですが、陸に上げてジェネカーを展開すると巨大なマシンとなって人々の目を引き付けました。「ヨットってオリンピックの種目の一つだったんだ、知らなかった」「どのくらいのスピードが出るんですか」「値段っていくらくらい？」など多くの質問があり、セーリング競技に対する興味が喚起できたようです。



銅メダルを覗きこむのは未来の五輪セーラー
(photo by Shigehiko Yamagishi / KAZI)

一方、銀メダル、銅メダルの展示では、メダルをじっと眺めたり、記念写真を撮ったりと反応は上々でした。「オリンピック

のメダルを初めて見ました」と言う人が多く、興味を引いたようです。

また、特設ステージでは、オリンピックを題材にした子どもクイズ大会を開催。回答者となってくれた若洲ヨットハーバー、江ノ島ヨットクラブのジュニアセーラーたちの反応が新鮮で、好評を博しました。

ボートショーでの五輪関係の出展内容

■レース艇展示

・OP 級、レーザー 4.7 級、レーザーラジアル級をプロムナードエリアで展示

・49er 級を屋内エリアで展示

■パネル展示

・オリンピック セーリング競技の紹介

・1964 年東京オリンピックの写真展示

■メダル展示

・銀メダル、銅メダルの展示

・記念撮影ブースの設置

■ステージ展開

・3月8、9日の両日「オリンピック 子どもクイズ大会」の実施。

(今回の各種の展示には 49er 級の牧野・高橋組、49erFX 級の波多江・大熊組、レーザーラジアル級の土居愛美選手、重由美子さん、関一人さん、カメラマンの中嶋房徳さん、若洲のジュニアセーラー、江ノ島ヨットクラブジュニアセクション、トヨタ自動車東日本株式会社、株式会社豊田自動織機、公益財団法人日本オリンピック委員会、一般社団法人日本マリン事業協会のご協力を得ています)



3回目を迎えた JYMA 選抜大学対抗 & U23 マッチ。
 今年はぜひ出たいという要望が複数寄せられ、本大会が大学ヨット部セーラーの関心を
 引くようになったことが実感された。

同志社大 優勝!

第3回 JYMA 選抜 大学対抗 & U23 マッチレース選手権大会

レポート/田中正昭・チーフアンパイア (JYMA 副会長) 写真/中嶋一成

10チームがエントリー

マッチレースは、主催者が招待状を送ったスキッパーだけが出場できるというのがルールだ。主催団体である JYMA A が打ち出した招待基準は次の通り。

- ◎ 前回大会 1、2 位。シード 2:「和歌山大学」「関西大学」
- ◎ 13 年全日本インカレ上位校 6 校
- ◎ 外洋帆走学連代表 1 校:「神戸大学」(13 年アニオールズ・カップ 優勝チーム)
- ◎ ホームポート代表 1 校:「中部学連」による選抜チーム
- ◎ 公募 2 校:「インビテーション・リクエスト」から選定
- 「インビテーション・リクエスト」とは、「招待してほしいと希望する選手がリクエストを主催者に送り、「選ばれる」のを待つこと。今回は 6 校・チームからインビテーション・リクエストが提出され、どう選ぶか判断が難しい事態となっ



優勝の同志社大チーム

た。結果、インカレ上位校からは 2 校のエントリーにとどまり、中部選抜もエントリーを断念したため、全チームに招待状が送られることとなった。最終的に以下の 10 チームがエントリーした。

シード校 2:「和歌山大学、関西大学」
 インカレ上位 2:「同志社大学、早稲田大学」

外洋学連 1:「神戸大学」
 公募 5:「江ノ島同盟、東京大学、立教大学、立命館大学、金沢大学」

この興隆ぶりは、第 1 回から実行委員長を務める JYMA 副会長の田代和史の情熱と、JSAF キールポート強化委員会の強力な支援・協力抜きにはあり得なかった。

物心両面で強力な支援

田代は同志社大ヨット部出身で、470 級での活動を終えた後も同志社 O B を中心としたチームを組織し、マッチ

レース界で長く競技を続けてきた。

自身の経験に照らし、多くの学生セーラーがインカレで燃え尽き、卒業後ヨットから離れていくのを忤怩たる思いで見ている。そして、「セーリングを生涯スポーツとして続けてほしい」との思いから、学生ヨットの最高の舞台である全日本インカレで活躍したセーラーを集め、生涯スポーツへの導入の場を提供するという構想を長年温めていた。

折しも同じ問題意識から、JSAF キールポート強化委員会では「シームレスなセーリング環境の整備」というコンセプトの下、セーリングを生涯スポーツとして推進する活動が始まっていた。

この両者の出会いにより、12 年の第 1 回大会が実現した。同時に、キールポート強化委員会の働きかけにより、多くのキールポート・オーナーやチームの方々が、資金、人材、練習会での艇の提供や指導など、強力な支援をしていた。

最終成績

- | | |
|------|-------|
| 1 位 | 同志社大 |
| 2 位 | 早稲田大 |
| 3 位 | 江ノ島同盟 |
| 4 位 | 東京大 |
| 5 位 | 金沢大 |
| 6 位 | 和歌山大 |
| 7 位 | 立命館大 |
| 8 位 | 神戸大 |
| 9 位 | 立教大 |
| 10 位 | 関西大 |